

ダットシンチ

～アイソトープ検査をお受けになる方へ～

■何の検査ですか？

脳内の黒質線条体ドパミン神経の終末部（線条体）に存在するドパミントランスポーターを画像化する検査です。

CTやMRI、脳血流SPECTでは分からなかったドパミン神経の変性・脱落の程度を評価することが可能です。

■何が分かるのですか？

パーキンソン病（症候群）やレビー小体型認知症ではドパミン神経が変性・脱落するため線条体へのくすりの集まりが低下します。

病期の早期診断や鑑別診断に役立つ検査です。

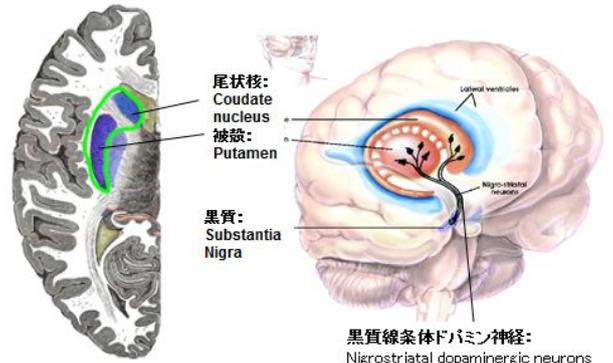
■どうやって検査するのですか？

くすりを静脈内に注射します。脳にくすりが集まるまで約3時間お待ち頂きます。

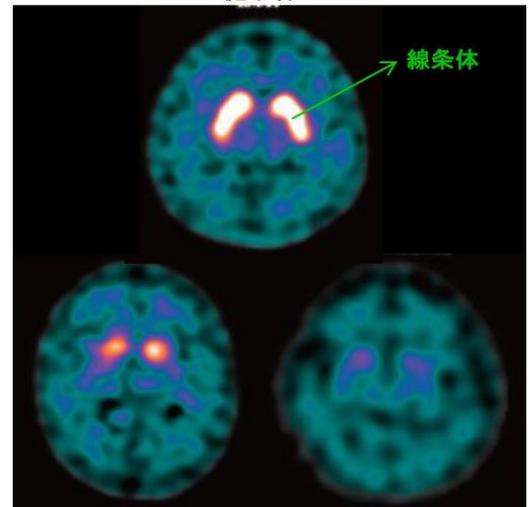
約3時間後に仰向けに寝て、カメラで頭部を撮影します。

撮影は約30分程度で終わります。

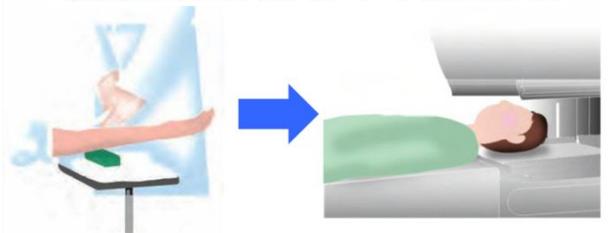
線条体と黒質線条体系ドパミン神経



健常者



パーキンソン病 レビー小体型認知症
(線条体のドパミントランスポーターが減少している)



■放射線の影響は？副作用は？

放射線を出すくすりを使用しますが、ごく微量であり心配はありません。また、体内の放射線は短時間の内に、少なくなり排泄されます。CTなどによる被曝と同等またはそれ以下です。

◆詳しくは主治医・看護師・診療放射線技師にお尋ねください◆

独立行政法人国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター